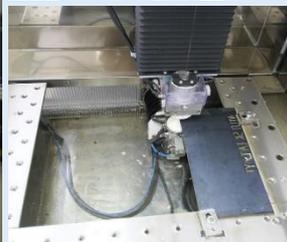


## 【機械・ロボット科3年】ワイヤー放電加工実習



令和2年9月、機械・ロボット科3年生の実習において、ワイヤー放電加工機を使用した金属加工を行っています。

ワイヤー放電加工機は、絶縁性を有する液体の中で電極（ワイヤー）と加工物の間にアークを発生させ、その熱を利用して工作物を溶融・除去する加工機です。



切削では困難とされる薄い板（鋼板、ステンレス板、銅板、アルミ板など）の金属の加工から、超硬素材（焼入鋼・超硬・ステンレス・真鍮・インコネル・

ダイスなど）まで、導電体であればどんなに硬くても高精度で複雑な加工が可能です。

前回の実習で、作成した自分のイニシャルのNCデータを放電加工機にインポートし加工を行いました。